

(総括評価表Ⅱ)

“アジアとつながる”～「アジアの中で存在感のあるくまもと」をめざします～

1 実現に向けて推進する戦略

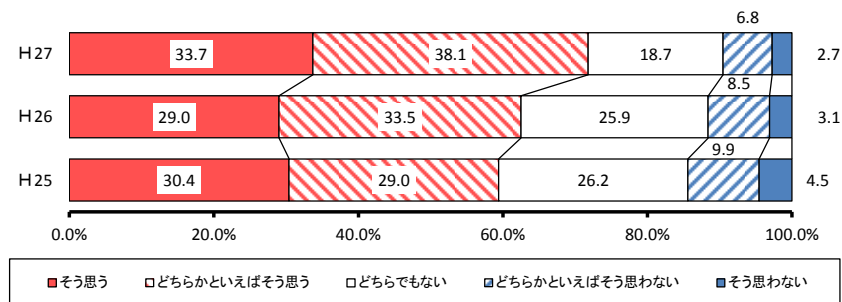
**戦略5** アクション・アジア  
～成長するアジアの市場に打って出ます～

① アジアに打って出る

② アジアから呼び込む

○県民アンケート結果

「アジアの中で存在感のあるくまもと」に近づいているかどうか



2 戦略指標の動向

※下表の「指標の動向」・「達成状況」欄は目標値の種類に応じて次により整理。

目標値の種類	「指標の動向」	「達成状況」
戦略策定時から最終年度まで累計値で見ていく指標	→	☆
最終年度(単年)の実績値で見ていく指標	→	★

指標	戦略策定時(年度)	H27実績値	単位	指標の動向(策定時との比較)	目標値(H27年度)	種類	達成状況	備考
① アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57(H23)	138	延べ数	→	延べ86	累計	☆	H26実績値
	延べ27(H23)	152	延べ数	→	延べ40			H26実績値
	延べ16(H23)	64	延べ数	→	延べ23			H26実績値
② 延べ外国人宿泊者数	33万人/年(H22)	48	万人	→	60万人/年	単年		H26実績値
	うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年(H22)	45	万人	→		55万人/年	H26実績値
	留学生の数	575人/年(H23)	735	人	→		1,000人以上/年	H26実績値

### 3 戦略の主な成果及び課題

主な成果

主な課題

※「主な成果」の実績値については、注釈がある場合を除き、戦略期間中の累計を記載。

#### 【戦略5】アクション・アジア～成長する市場に打って出ます～

アジアのマーケット開拓では、H25年度に設置した海外展開推進本部を中心に、庁内の情報の共有化や連携強化を図るなど、施策を戦略的に推進し、アジアとのつながりの強化、県産品輸出の拡大を推進した。具体的に、上海事務所に加え、アジア事務所(シンガポール)、くまもと香港事務所などを開設するとともに、輸出促進アドバイザーを活用した新規事業者の掘り起こしや、シンガポール・香港での延べ151品目の物流試験及び延べ75業者・154品目の販売実証、くまモン商品の海外販売解禁を契機に、台湾・香港での現地コンビニとのタイアップ事業等による県産品販路拡大、中国広西壮族自治区での中国-アセアン博への出展等により、マーケットの開拓を進めた。また、中国・ベトナム向けの本材のテスト輸出や、製造業関連企業の海外販路展開の支援等を通じ、タイ・台湾市場の把握が進むとともに、農林水産物に係るオール熊本での輸出促進や新たな国への販路拡大等の条件整備を進めてきた。

ポートセールスの展開では、八代港、熊本港のコンテナ取扱数がそれぞれ過去最高を記録したほか、八代港では、船舶の大型化対応の水深14m航路の整備やガントリークレーンの大型化を進めた。

海外からの誘客について、外国人延べ宿泊者数が48万人(H26年)を超え、2年連続で過去最高を更新したほか、国際航空路線の誘致・拡充では、知事トップセールス等の結果、熊本と台湾高雄との定期チャーター便が就航、H27年10月には定期便化が実現したほか、同12月には熊本と香港との定期便の就航が実現した。また、八代港や熊本港へのクルーズ船の誘致活動により、H28年3月までに延べ25隻が寄港した。

また、H27年9月に開催されたASAD(アジア認知症学会)2015大会では、本県の「熊本モデル」の認知症医療体制構築等の取組みが評価されるとともに、認知症分野におけるアジアとの交流が進んだ。

- 海外事務所やビジネスアドバイザー等を活用し、企業の海外展開や農林水産物の輸出を更に推進することが必要。
- 熊本・八代両港の利用促進を図るため、新規荷主の掘り起こしの強化等のほか、航路などの整備促進による、物流機能の更なる向上が必要。
- 大型クルーズ船の円滑な受入に向けた環境整備の推進が必要。
- 外国人観光客の多様なニーズを踏まえた旅行商品の造成・販売展開を促進するとともに、ハード・ソフト両面での受入環境整備が必要。
- 新たに就航した国際航空路線の利用促進が必要。
- 留学生数の増加に向け、県、大学コンソーシアム熊本、各大学等の関係機関が連携を深め、更なる取組みにつなげていくことが必要。



熊本-台湾高雄間の定期便が就航



八代港へのクルーズ船寄港が急増